

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年5月31日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者

住所 千葉県茂原市東郷1900番地
氏名 三井化学株式会社茂原分工場
分工場長 鎌田 弘毅

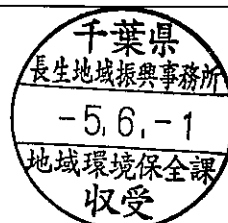
電話番号 0475-23-0112

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井化学株式会社茂原分工場
事業場の所在地	千葉県茂原市東郷1900番地
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

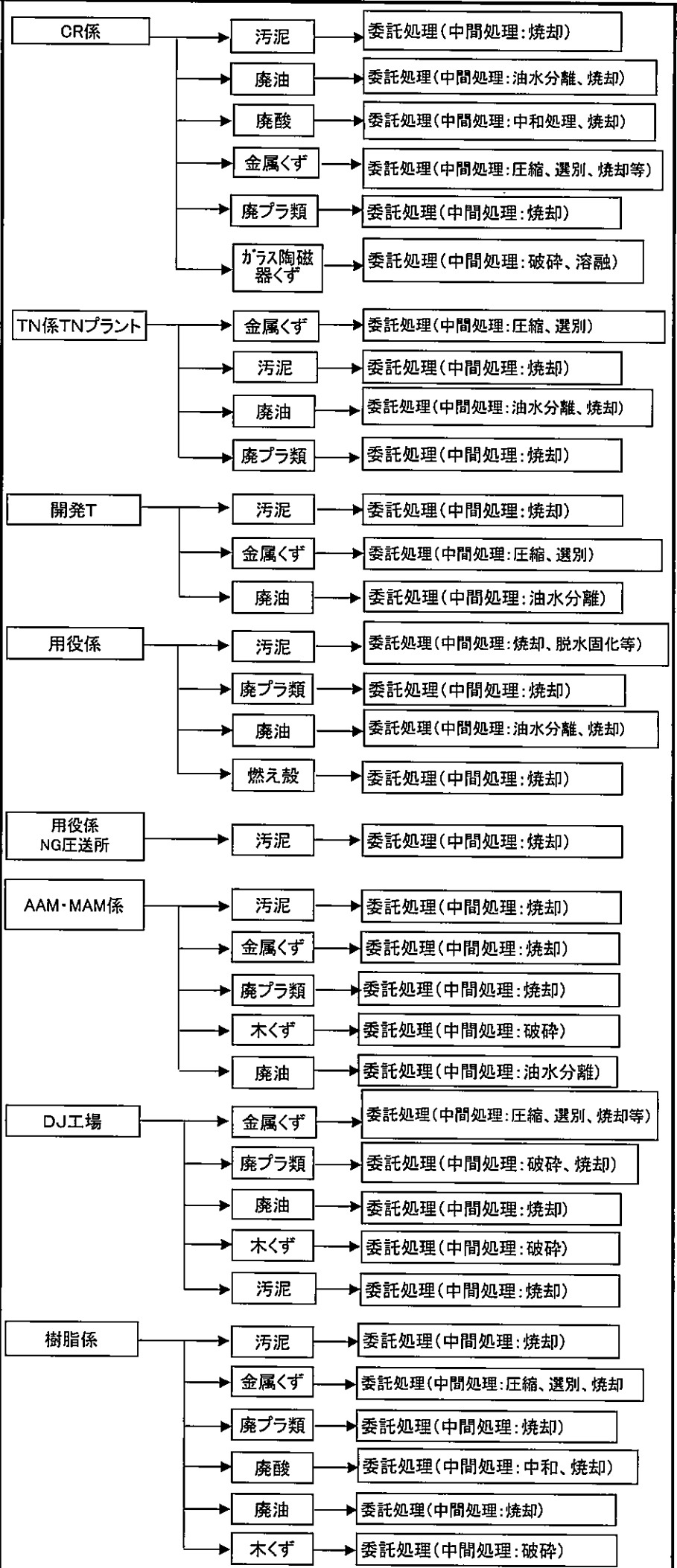
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

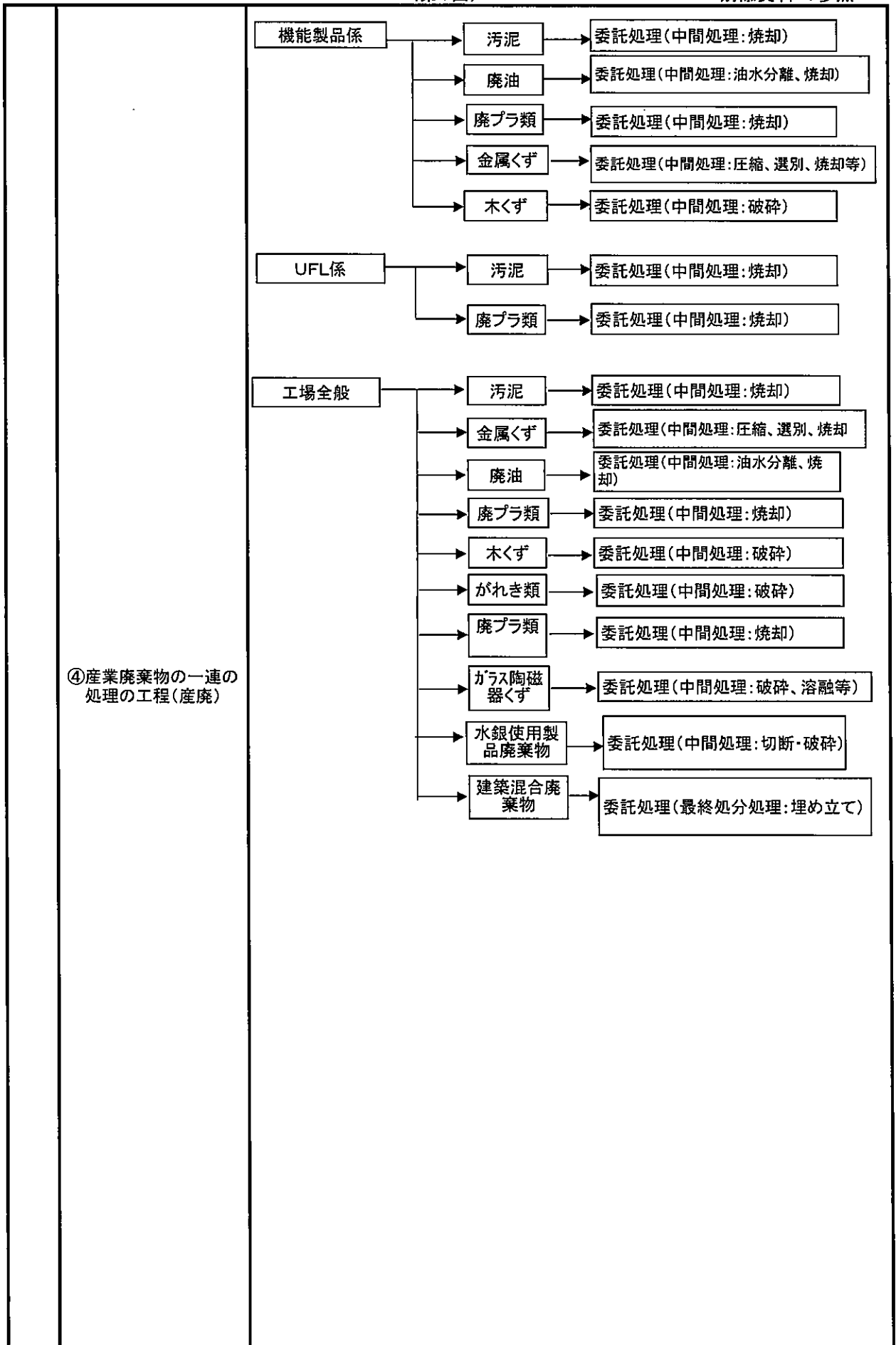
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：化学工業
②事業の規模	前年度の製造出荷額 19020百万円
③従業員数	社員：198人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添資料-1 参照



(日本工業規格 A列4番)

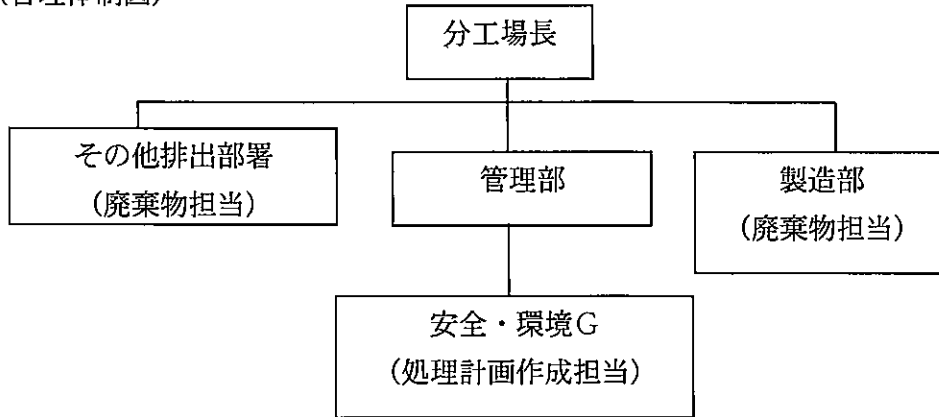
④産業廃棄物の一連の処理の工程(産廃)





産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排 出 量	823.7 t	95.9 t
	(これまでに実施した取組) 【汚泥】分別強化の実施 【廃油】焼却から燃料化検討		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排 出 量	950.0 t	95.0 t
	(今後実施する予定の取組) 【汚泥】分別強化の実施 【廃油】焼却から燃料化検討継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【汚泥】分別強化の実施継続 【廃油】なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【汚泥】分別強化の実施継続 【廃油】なし

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	101.3 t	6.9 t
	(これまでに実施した取組)		
	【廃プラスチック類】 分別強化の継続 【ガラス・コンクリート・陶磁器くず】 なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス屑・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	110.0 t	6.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	【廃プラスチック類】 分別強化の継続 【ガラス・コンクリート・陶磁器くず】 なし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【廃プラスチック類】 分別強化の継続 【ガラス・コンクリート・陶磁器くず】 なし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【廃プラスチック類】 分別強化の継続 【ガラス・コンクリート・陶磁器くず】 なし		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	水銀使用製品産業廃棄物
	排出量	13.5 t	0.3 t
	(これまでに実施した取組) 【木くず】 分別強化の継続 【水銀使用製品産業廃棄物】 なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	水銀使用製品産業廃棄物
	排出量	13.0 t	0.3 t
	(今後実施する予定の取組) 【木くず】 分別強化の継続 【水銀使用製品産業廃棄物】 なし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【木くず】 分別強化継続 【廃水銀使用製品廃棄物】 なし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【木くず】 分別強化継続 【廃水銀使用製品廃棄物】 なし		

(第7面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	排 出 量	61.1 t	0.4 t
	(これまでに実施した取組) 【金属くず】 分別強化の継続 【廃アルカリ】 なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	排 出 量	60.0 t	1.0 t
	(今後実施する予定の取組) 【金属くず】 分別強化の継続 【廃アルカリ】 なし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【金属くず】 分別強化の継続 【廃アルカリ】 なし		
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【金属くず】 分別強化の継続 【廃アルカリ】 なし		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	燃え殻
	排 出 量	0.2 t t
	(これまでに実施した取組) 【燃え殻】なし 【 】	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	燃え殻
	排 出 量	0.2 t t
	(今後実施する予定の取組) 【燃え殻】なし 【 】	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【燃え殻】なし 【 】	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 【燃え殻】なし 【 】	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当産業廃棄物なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	（これまでに実施した取組） 弊事業所では全量委託処理を実施しており事業所内での再生利用は行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当産業廃棄物なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	（今後実施する予定の取組） 弊事業所では全量委託処理を実施しており今後も事業所内での再生利用を行う計画はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当産業廃棄物なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
（これまでに実施した取組） 弊事業所では全量委託処理を実施しており事業所内での中間処理は行っていません。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当産業廃棄物なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
（今後実施する予定の取組） 弊事業所では全量委託処理を実施しており事業所内での中間処理の計画はありません。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当産業廃棄物なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	（これまでに実施した取組） 弊事業所では自社で埋立処分又は海洋投入処分を行っていません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当産業廃棄物なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	（今後実施する予定の取組） 今後も埋立処分又は海洋投入処分の計画はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	823.7 t	95.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	758.4 t	95.9 t
	再生利用業者への処理委託量	665.3 t	7.8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	68.4 t	0.1 t
	（これまでに実施した取組） 【汚泥】分別強化の継続 【廃油】焼却から燃料化検討		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全処理委託量	950.0t	95.0t
	優良認定処理業者への処理委託量	750.0t	95.0t
	再生利用業者への処理委託量	750.0t	5.0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	60.0t	0.1t
	(今後実施する予定の取組) 【汚泥】分別強化の実施 【廃油】焼却から燃料化検討継続		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全処理委託量	101.3t	6.9t
	優良認定処理業者への処理委託量	94.4t	6.9t
	再生利用業者への処理委託量	14.3t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	20.0t	0t
	(これまでに実施した取組) 【廃プラスチック類】 分別強化の継続 【ガラス・コンクリート・陶磁器くず】なし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全処理委託量	110.0 t	6.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	100.0 t	6.0 t
	再生利用業者への処理委託量	15.0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	20.0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 【廃プラスチック類】 分別強化の継続 【ガラス・コンクリート・陶磁器くず】 なし		
(産業廃棄物の処理の委託に関する事項)			
①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	水銀使用製品廃棄物
	全処理委託量	13.5 t	0.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.3 t
	再生利用業者への処理委託量	13.5 t	0.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 【木くず】 分別強化の継続 【水銀使用製品廃棄物】 なし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	水銀使用製品廃棄物
	全処理委託量	13.0 t	0.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0.3 t
	再生利用業者への処理委託量	13.0 t	0.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 【木くず】 分別強化の継続 【水銀使用製品廃棄物】 なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	全処理委託量	61.1 t	0.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.3 t	0.4 t
	再生利用業者への処理委託量	59.8 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 【金属くず】 分別強化の継続 【廃アルカリ】 なし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃アルカリ
	全処理委託量	60.0 t	1.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t	1.0 t
	再生利用業者への処理委託量	59.0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 【金属くず】分別強化の継続 【廃アルカリ】なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	
	全処理委託量	0.2 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 【燃え殻】分別強化の実施		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	
	全処理委託量	0.2 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 【燃え殻】分別強化の実施継続 【 】		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(これまでに実施した取組) 【 】 【 】		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への 処理委託量	
	再生利用業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者への 処理委託量	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	(今後実施する予定の取組) 【 】 【 】	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。